

都市再生整備計画 事後評価シート
旧鵜沼宿・旧中山道地区

平成23年3月

岐阜県各務原市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県		市町村名	各務原市		地区名	旧鵜沼宿・旧中山道地区			面積	10.0ha		
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	1,342百万円		国費率	0.414			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 市道鵜987号線等、脇本陣跡地広場、市道鵜698号線(カラー舗装等)、観光交流センター(中山道鵜沼宿町屋館)										
		提案事業	地域創造支援事業(景観重要建造物保存事業、家屋等修景事業、火の見櫓改修)、まちづくり活動推進事業(旧鵜沼宿・旧中山道復元イメージ作成、鵜沼宿まちづくり活動推進費)										
	新たに追加した事業	基幹事業	事業名				削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業	(仮称)脇本陣復原、公民館修景事業				基幹事業(高次都市施設)へ移行したため。			影響なし			
		基幹事業	道路:市道鵜1325号、市道鵜1102号線 高質空間形成施設:市道鵜698号線(電線類地下埋設施設) 高次都市施設:中山道鵜沼宿脇本陣、(仮称)鵜沼西町交流会館				道路:旧中山道の交通量分散による安心して歩ける道づくりに向け、事業を追加。 高質空間形成施設:道路改良工事と電線共同溝工事を分割による変更。 高次都市施設:当初計画の提案事業であったものを移行。			道路:歩行快適度の指標に関係するが、数値目標は据え置く 高質空間形成施設:歩行快適度の指標に関係するが、数値目標は据え置く 高次都市施設:影響なし			
	提案事業	地域創造支援事業:旧大垣城鉄門移築事業、消防団倉庫整備事業、市道鵜698号線無電柱化事業、宇留摩庵整備				地域創造支援事業:地区の魅力をより高めるために新規で追加。無電柱化事業については、電線共同溝から裏配線に移行したため変更			地域創造支援事業:来訪者滞留時間、歩行快適度の指標に関係するが、数値目標は据え置く				
	交付期間の変更	当初変更	平成18年度～平成22年度 平成 年度～平成 年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値 基準年度		目標値 目標年度		数 値 モニタリング 評価値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
	指標1	歩行快適度	%	0	H17	60	H22		78.0	○	あり なし	交通量の多い中山道である市道鵜698号線では、狭窄部の設置、歩道拡幅による車道幅員の縮小により、中山道の交通量低減およびスピード抑制が図られ、歩行の安全性や快適度の向上による沿道空間の創出に寄与。	平成23年4月
	指標2	来訪者滞留時間	h	0.5	H17	1.5	H22		1.5	○	あり なし	新たな交流施設、飲食店等の立地により、来訪者を呼び込める魅力ある鵜沼宿となり、またボランティアガイドなどの取り組みにより滞留時間の増加に寄与。	平成23年10月
	指標3	まちづくり活動参加者数	人	30	H17	50	H22		60	○	あり なし	イベントの開催などにより、地元住民が地域に対して誇りを持つきっかけとなり、まちづくりの意識が高まり、活動が活発化し、活動参加者数の増加に寄与。	平成23年4月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値 基準年度		目標値 目標年度		数 値 モニタリング 評価値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
その他の数値指標1													
4)定性的な効果発現状況	○本地区のまちづくり団体からは本事業が改めて地区を見直す機会となり、住民が誇りを持つことができたという声もあり、地元住民のまちづくりに対する意識が向上し、まちの活気が生まれつつあるとの意見があった。 ○イベント時には各務原市の郷土菓子「がんどばぼち」が振舞われたり、郷土料理「ねぶかぞうすい」を再現するなど、各務原市独自の文化を発信する機会ともなっており、活気あるまちづくりが進みつつある。 ○本地区のまちづくり団体からは、それぞれに活動している団体が、互いに協力し合い活動をしようという動きがみられ、さらに市外のまちづくり団体との協力体制をつくりたいとの意見があり、まちづくり活動のさらなる活発化の機運が高まっている。 ○市民団体による中山道の美化活動が月2回行われており、住民発意の取り組みもみられ、安心で快適に歩ける空間づくりに寄与している。												
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた						
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した						
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス	・市民参加型による整備方針等の検討 ・イベント等の開催 ・PR活動の支援				都市再生整備計画に記載し、実施できた				●	まちなみ保全に向けた各団体の自主的な取り組みに対して市は活動を支援していく。		
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
持続的なまちづくり体制の構築	・中山道鵜沼宿のまちづくりを担う、市民ボランティアの発足				都市再生整備計画に記載し、実施できた				●	各団体および住民との連携を基本姿勢とし、イベントの開催、住民への町並修景等の啓発などの取り組みを促進。			
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

